

[江別市] 施策達成度報告書

政策 06 市民協働によるまちづくり

施策 03 国内・国際交流の推進

主管課 秘書課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<p>国際情勢や国際経済が日々変化する中においてその基礎となる国際理解を深めることが、改めて重要視されている。外国とのコミュニケーション力を高めること、語学力をつけること、異なった文化を理解することで、更なる地域の国際化を推進することが求められている。</p>	<p>1) 地域国際化の推進 国際的感覚を持った市民を育成し、外国の生活や文化を理解することで、日本人と外国人の双方が安心して快適な暮らしが出来る地域社会を築くことが必要である。</p> <p>2) 人材育成等のための支援 外国人とコミュニケーションを図る力や国際感覚を身に付け、日本の発展や国際社会に貢献できるような人材及び団体の育成を支援することが必要である。</p> <p>3) 異文化理解の推進 国内・国外の異なる歴史や文化などを知ったり、そこで暮らす人たちと接する機会を設けることで、視野を広げるとともに、地域の現状や課題について見識を深めてもらうことが必要である。</p>

施策の目的

友好都市などとの交流により、国内の郷土や歴史の違いの相互理解を進めるとともに、姉妹都市や市内在住の外国人などとの交流により、外国との文化、言葉の違いを理解し、誰もが快適に暮らせる地域を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内居住外国人

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国の文化や習慣を理解するとともに、コミュニケーションを図ることができるようにして、外国人とともに快適な生活を送ることができる。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
外国のことを理解し、お互いの歴史や風土を尊重して交流できる市民割合	%	16.9	-	16.1	19.1	↗
土佐市やグレシャム市が友好姉妹都市であると知っている市民割合	%	-	-	73.0	76.2	↗

施策の達成状況 (24年度)

平成24年度の市民アンケート結果においては、平成23年度の成果指標と比較すると、微増ではあるが増加傾向にあり、全小学校での英語教育の充実や小・中学生の友好都市相互派遣、中高校生の姉妹都市相互派遣などを通じ、事業に関わった学校や保護者を中心に姉妹都市・友好都市についての認識が浸透していると考えます。今後、事業の継続により交流経験者を増やすことで、更なる市民への国内・国際文化の交流やPRに努めます。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	25,400	27,643	29,690
事業費(千円)	10,070	12,253	13,013
人件費(千円)	15,330	15,390	16,677

01 人材・団体の育成

基本事業の目的

国際感覚を持ち、外国人と良好なコミュニケーションが図れる人材や団体を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内通勤通学者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国人とコミュニケーションを図る力を身につける。
国際交流や国際理解を推進する担い手が増える。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
外国人とコミュニケーションが出来る人の割合	%	10.2	-	10.3	13.1	↗
国際交流団体の登録者数	人	317	294	296	276	370

基本事業の達成状況 (24年度)

外国人とコミュニケーションを図ることができる人の割合は、市民アンケートの結果によると、微増ではあるが増加傾向にあり、全市内小学校での英語教育が充実してきたことや、国際センターでの語学教室及び国際交流イベントなどの参加人数は、着実に前年度数値より増加の傾向にあり、外国人とのコミュニケーションが地道に浸透されているものとする。また、国際交流団体の登録者数は1団体増加したものの、登録者数については、国際情勢の変化などにより対前年で減少傾向にある。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,182	5,090	4,574
事業費(千円)	1,978	3,807	3,285
人件費(千円)	1,204	1,283	1,289

02 在住外国人への情報提供の充実

基本事業の目的

言葉や生活習慣の違いによる支障やトラブル、不安を解消し、誰もが安心して暮らせる街にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

外国人

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国人が安心して住めるようになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
外国語による情報媒体提供件数	件	17	16	18	22	20
外国人相談によって問題が解決した割合	%	100	100	100	100	100

基本事業の達成状況 (24年度)

ホームページや市役所の窓口などでのパンフレット配布などを通じ、英語と中国語による生活情報(緊急時の連絡先やごみの出し方など)や行政情報(子育て関連や税金など)の提供を行ってきたほか、外国人からの相談対応を行うことで、外国人がトラブルなく過ごすことができるよう努めてきた。平成24年度は、住民基本台帳法、出入国管理及び難民認定法(入管法)などの法律が改正され、外国人登録法が廃止されたことで、市内の外国人からの問い合わせもあり、今後もきめ細やかな対応を進める。(ホームページ関連17件、パンフレット関連1件、eメール問い合わせ4件)

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	8,448	8,438	8,468
事業費(千円)	4,836	4,831	4,842
人件費(千円)	3,612	3,607	3,626

基本事業の目的

様々な国や人、地域と触れ合い、相互の文化や歴史を理解する人材を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内通勤通学者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

交流の機会等を通して、多くの市民が多様な文化を理解するようになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
友好都市との交流者数	人	1,752	1,871	1,822	1,854	1,800
世界市民の集いなど交流イベントの参加者数	人	813	713	813	895	880
社会人向け外国語講座の参加者数	人	225	239	257	266	270

基本事業の達成状況 (24年度)

小中学生による友好都市及び中高校生の姉妹都市との相互派遣、国際センターでの語学教室やイベントなどを通じ、市民が異文化の歴史や文化、言語などに触れる機会を持てるよう努めてきた。また、イベントの参加者については、市内外の外国人や市内高校・大学などの参加により、前年度を上回ることができた。移転後の新しい国際センターでの外国語講座の受講者についても、英会話教室の参加者が増えたことにより順調に推移している。なお、平成24年度までの土佐市との小中学生の相互交流数は801名、中高校生のグレシャム市との交流は320名となっている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	13,770	14,115	16,648
事業費(千円)	3,256	3,615	4,886
人件費(千円)	10,514	10,500	11,762

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			